

9 月 定 例 記 者 会 見

令和元年9月24日(火)

16:00～ 第1委員会室

1 あいさつ

2 会見事項

(1) 「これからの足利シティプロモーション2019」について [資料No.1]

(2) 「第2回足利学び舎観光ロゲイニング」の開催について [資料No.2]

(3) 観光情報 [資料No.3]

3 行事予定

(1) 環境観察会－迫間湿地周辺の植物観察会－

9月26日(木) 9:30 迫間自然観察公園

問い合わせ: 環境政策課会・TEL20-2151

(2) 交通安全市民大会

9月28日(土) 10:00 市民会館大ホール

パレードは同日 9:00 生涯学習センター出発

問い合わせ: 市民生活課・TEL20-2190

(3) 第50回記念 善意のつどい

9月29日(日) 13:00 市民会館大ホール

問い合わせ: 足利市ボランティア協会・TEL44-7311

(4) 民俗芸能大会

9月29日(日) 13:00 市民プラザ文化ホール

問い合わせ: 文化課・TEL20-2230

(5) 海の向こうの暮らし～ケニア編

9月29日(日) 13:30 生涯学習センター

問い合わせ：国際交流協会・TEL43-2412

(6) さといも収穫体験

10月5日(土) 10:00 大久保町多目的グラウンド集合

問い合わせ：農政課・TEL20-2161

(7) 足利市民文化祭

10月5日(土)～11月24日(日) 市民会館ほか

表彰式 12月8日(日) 10:30 市民会館小ホール

問い合わせ：文化課・20-2229

(8) 市民ホールコンサート いずれも12:15 市民ホール

10月11日(金) 北郷オカリナの会

10月18日(金) 森山遊英(薩摩琵琶)

問い合わせ：文化課・TEL20-2229

(9) 映像文化でまちおこし

10月11日(金) 18:30 市民会館小ホール

問い合わせ：足利文化協会・TEL44-4123

(10) 生涯学習振興大会

10月12日(土) 13:30 市民プラザ文化ホール

問い合わせ：生涯学習課・TEL43-1311

(11) 足利・濟寧 友好都市締結35周年記念 アジアデイ

10月13日(日) 13:30 市民会館小ホール

問い合わせ：国際交流協会・TEL43-2412

(12) 田崎草雲生誕祭

10月14日(月) 13:00 草雲美術館

問い合わせ：草雲美術館・TEL21-3808

次回の定例記者会見の予定

10月21日(月) 16:00 第1委員会室

「これからの足利シティプロモーション 2019」について

総合政策部 企画政策課

電話 0284-20-2261

1 趣旨

本市では、市民一人ひとりの郷土への関心・愛着・誇りを醸成し、地域への参画を促していくための基本的な考え方を示した「足利シティプロモーション基本方針」を平成 28(2016)年 3 月に策定し、これを軸としてシティプロモーションを推進してきました。

この度、足利シティプロモーションのこれまでの実績を踏まえて内容を見直し、次の段階へ戦略的に事業を展開していくために定めた「これからの足利シティプロモーション 2019」について報告いたします。

2 「これからの足利シティプロモーション 2019」

(本編及び概要版) 別冊のとおり

■「これからの足利シティプロモーション 2019」について

足利市では、「足利シティプロモーション基本方針」を平成28（2016）年3月に策定し、3年間様々な取り組みを行ってきました。

この「これからの足利シティプロモーション 2019」は、その基本方針をもとに、これまでの実績を踏まえて内容を見直し、足利シティプロモーションの今後の方針についてまとめたものです。

■これまでの足利シティプロモーションの主な取り組み

▶「素通り禁止！足利」プロジェクトスタート（H29（2017）年1月～）

「足利の素通りできない魅力を集めて、足利がどんなまちなのかを一緒に考えていこう！」という取り組み。

▶写真を活用した魅力発信（H30（2018）年度～）

日本最大の審査制写真投稿サイト「東京カメラ部」と連携して、足利の魅力を発信。

▶市民ワークショップの開催（H30（2018）年度）

「足利の何が、どんな人が『素通り禁止！』なのか？」をテーマにワークショップを開催。

▶シティプロモーションシンポジウム（H31（2019）年3月）

足利シティプロモーションのこれからを考えるシンポジウムを開催。

■足利シティプロモーションの効果

その結果、少しずつですが、まちに関心を持つ人が増え、またテレビ等に取り上げられることも増えました。



TokyoCameraClub
東京カメラ部

市民アンケート



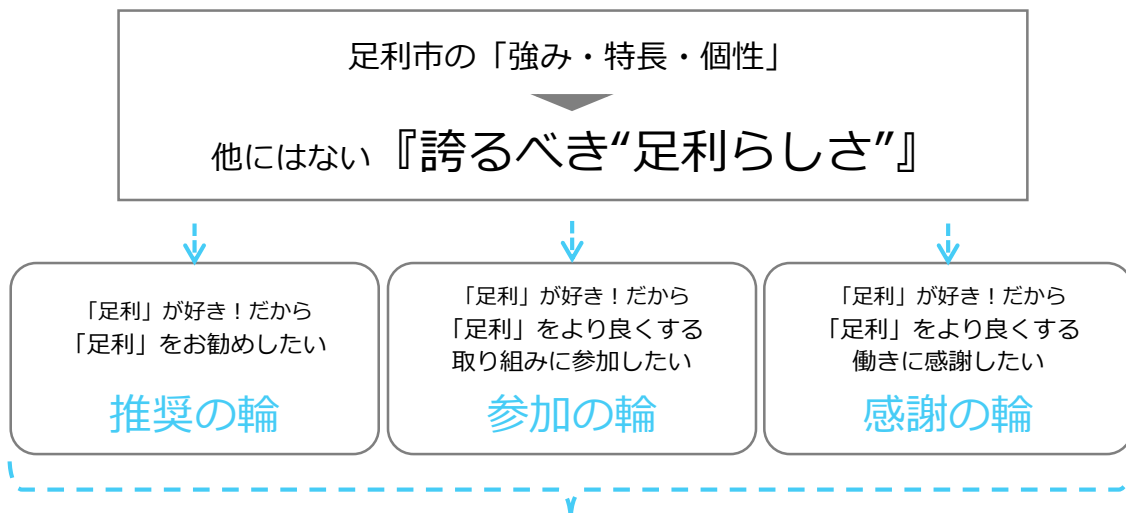
メディア露出 広告換算額



■足利シティプロモーションの目的

人口減少と少子高齢化が進む地域社会において、5年後、10年後、そして100年後のまちの姿を見据えながら、活性化を図るためには、「市民の力」を推進力とすることが不可欠です。

そのような「市民の力」をもっと高めるために多くの地域資源が存在するまち足利市の「強み・特長・個性」を最大限に活用し、足利に関わる人、足利を愛する人、一人ひとりが感じている『誇るべき“足利らしさ”』を市内外に向けて発信し、これに対する推奨・参加・感謝の輪（⇒足利シビックプライドの輪）を広げていくことが、足利シティプロモーションの目的です。



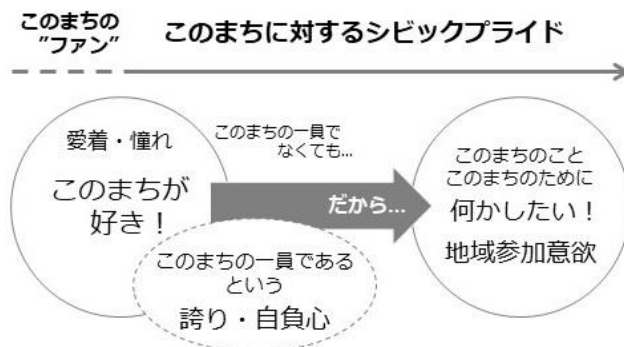
足利シビックプライドの輪を広げる

■まちへの愛着からシビックプライドへ

足利シティプロモーションでは、まちへの愛着や誇りだけに留まらず、“この都市（地域）をより良い場所にするために自分自身がかかわっている”という当事者意識、あるいは当事者としての誇りである「シビックプライド（注1）」につなげ、まちの活力とすることを目指します。

（注1）19世紀のイギリスの都市で生まれたものと言われ個人個人がまちに抱く誇りや愛着のことを言います。市民の一人ひとりがまちを構成する一員であるという当事者意識を持って自発的にまちづくりに参加すること、まちをより良いものにするための取り組みに積極的に関わることを大切にする考え方は、

しかしながら「シビックプライド」はあくまで、自由さや自律性を持った「感性」であり、必ずしも“地域参加”といった行動を伴うとは限りません。また必ずしも“まちの構成員”である必要もありません。



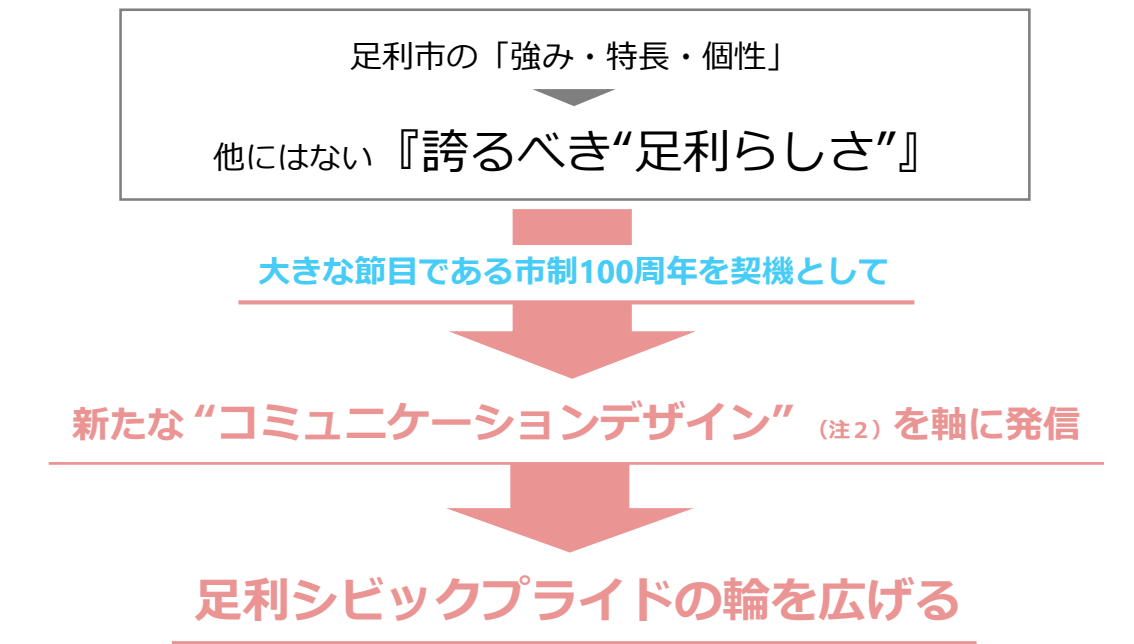
■シビックプライド研究会「シビックプライド」H20（2008）年「シビックプライド2」H27（2015）年 宣伝会議を参考にしています。

■これからの足利シティプロモーションの方向性

これからの足利シティプロモーションでは、足利市にとって大きな節目となる市制100周年を契機として、「素通り禁止！足利」プロジェクトやこれまでの取り組みで再発見された足利市の「強み・特長・個性」を整理し『誇るべき“足利らしさ”』として表現します。

そして、それを形にした新たな“デザイン”を軸として、市内外に発信しコミュニケーションを図っていくことでシビックプライドの輪を広げていきます。

これからの足利シティプロモーション



足利市コミュニケーションデザイン (注2)



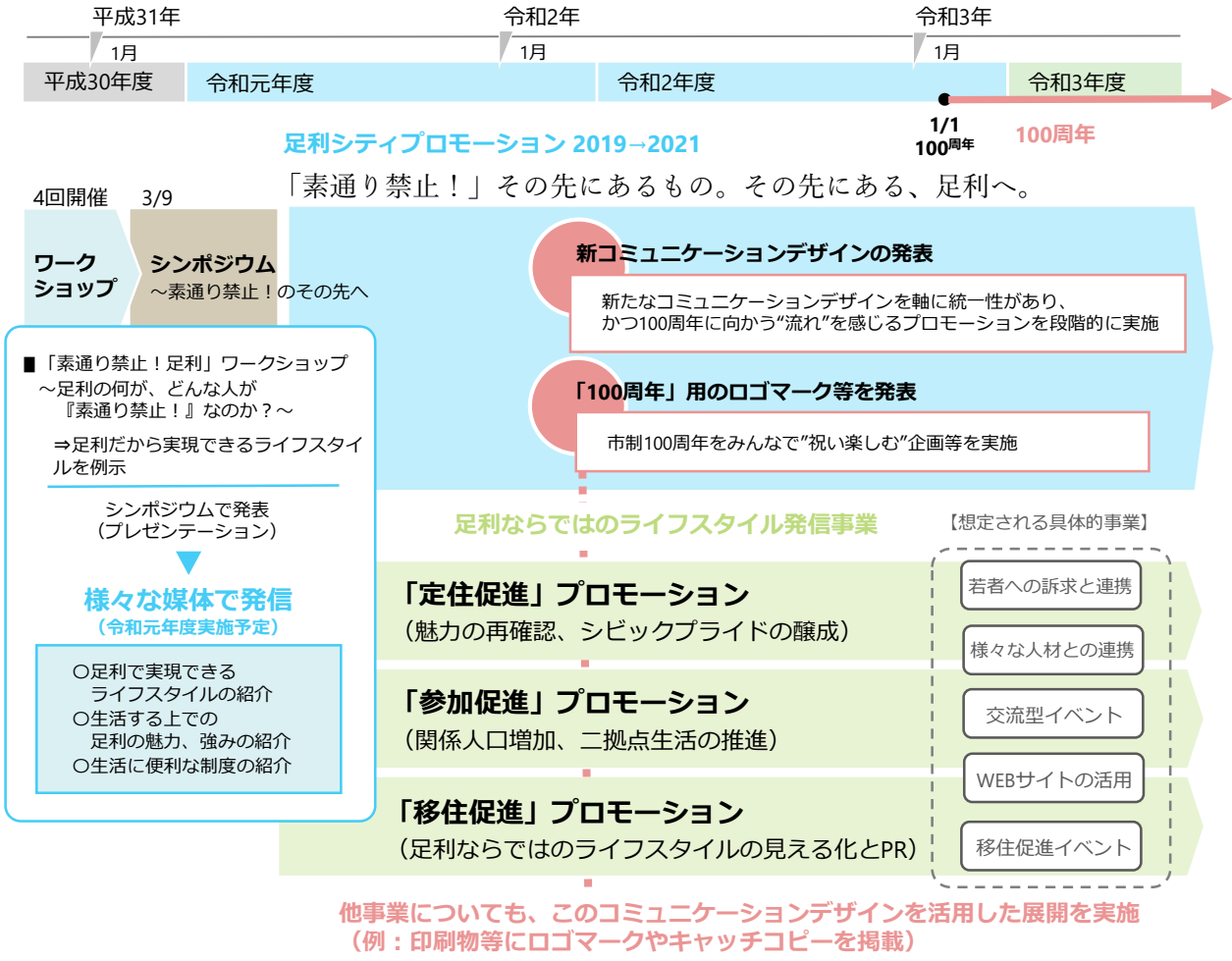
(注2) コミュニケーションデザインとはコミュニケーションの形や仕組み、すなわち「伝え方・伝わり方」をデザインするということであり、単にロゴマークやキャッチコピー等を作成することではありません。

H31年 (2019) 年
R元年 (2019) 年
R2年 (2020) 年
R3年 (2021) 年

■ 移住定住やまちへの参加促進事業との連携

足利シティプロモーションは、足利ならではの「暮らし」を紹介し、移住・定住やまちへの参加促進につなげていく事業とも連携します。

また、それぞれの事業についても、新たなコミュニケーションデザインに沿った展開を意識して実施します。



■ 「素通り禁止！足利」プロジェクトは市民の手により“自走”へ 素通り禁止♥足利

平成29 (2017) 年1月に始まったこのプロジェクトは、現在、#素通り禁止足利 による SNSでの広がりや、市民ライターの活躍、民間企業との連携等により、行政による管理運営によることなく自走しはじめています。

市制100周年を控えた今、ここで得た財産を活用し、今後も足利シティプロモーションのひとつの手法として、コミュニケーションデザインの中に位置付けていきます。

令和元 (2019) 年 8 月
足利市 総合政策部 企画政策課 移住定住・シティプロモーション担当
〒326-8601 足利市本城3丁目2145 TEL 0284-20-2261 Email kikaku@city.ashikaga.lg.jp

これからの足利シティプロモーション
2019



足利市

令和元（2019）年8月

目次

1. はじめに	P.2~P.3
(1) 「これからの足利シティプロモーション 2019」について	
2. これまでの取り組みと効果	P.4~P.7
(1) これまでの足利シティプロモーションの主な取り組み	
(2) 足利シティプロモーションの効果	
3. 足利市が目指す将来都市像	P.8~P.9
(1) 足利市が目指すまちづくり【将来都市像】に向けて	
4. これからの足利シティプロモーション	P.10~P.12
(1) 足利シティプロモーションの目的	
(2) まちへの愛着からシビックプライドへ	
5. 足利シティプロモーションの今後の事業展開	P.13~P.17
(1) これからの足利シティプロモーションの方向性	
(2) 足利シティプロモーションは次の展開へ	
(3) 「素通り禁止！足利」プロジェクトは市民の手により“自走”へ	
(4) 移住定住やまちへの参加促進事業との連携	
(5) 足利シティプロモーションの推進体制	
6. 足利シティプロモーションの評価方法	P.18~P.19
(1) 足利シティプロモーション・ロゴマークやキャッチコピーなどの評価	
(2) 修正地域参画総量指標【mGAP】による地域参加意欲の定量化（評価）	
7. 資料編	P.20~P.26
(1) シティプロモーションとは	
(2) 平成30（2018）年度足利シティプロモーション推進事業【ワークショップ】	
(3) 平成30（2018）年度足利シティプロモーション推進事業【シンポジウム】	

1. はじめに

(1) 「これからの足利シティプロモーション2019」について

足利市では、市民一人ひとりの郷土への関心・愛着・誇りを醸成し、地域への参画を促していくための基本的な考え方を示した「足利シティプロモーション基本方針」を平成28（2016）年3月に策定し、これを軸としてこれまで3年間様々な取り組みを行ってきました。

この「これからの足利シティプロモーション2019」は、その基本方針をもとに、これまでの実績を踏まえて内容を見直し、足利シティプロモーションの今後の方針についてまとめたものです。

▶基本方針の中で提起されたステートメント（平成28（2016）年3月）

市民による協議会で足利の「強み」を活かし、かつ課題を解決していくための「ありたい姿」の構成要素を出し合い、「足利らしさ」を踏まえた**ステートメント**（注1）を提起しました。

足利シティプロモーション・ステートメント

一人ひとりが「素」的に輝くまち・足利

足利のValue（価値）

豊かな自然と、深い歴史を持つ足利は
多種多様な文化が融合し
様々な人や物との出会いが「縁」を生むまちです。

足利のMind（気質・気風）

今までも、これからも、足利人は
個性やこだわりを尊重し
なにげない日常にふとした心地よさを見出します。

足利のVision（目標）

一人ひとりが自分らしく「素」的に輝き
そこで暮らすこと、そこを訪れることが
自慢になるようなまちを目指します。

（注1）ステートメントとは、目指す姿・ありたい姿を数行のわかりやすい文章で書き表したものです。広報用キャッチフレーズとは違い、短い言葉に象徴化させたものではなく、市内外に伝えたいこと、伝えるべきことを率直に、豊かに表現するものです。

2. これまでの取り組みと効果

2. これまでの取り組みと効果

(1) これまでの足利シティプロモーションの主な取り組み

▶「素通り禁止！足利」プロジェクトスタート（平成29（2017）年1月～）

「素通り禁止！足利」を合言葉に、市内外の皆様に対して、「足利の素通りできない魅力を集めて、足利がどんなまちなのかを一緒に考えていこう！」という発信を行ってきました。



▶写真を活用した魅力発信（平成30（2018）年度～）

日本最大の審査制写真投稿サイト「東京カメラ部」と連携して、足利の魅力を発信する写真展などを開催しました。



2. これまでの取り組みと効果

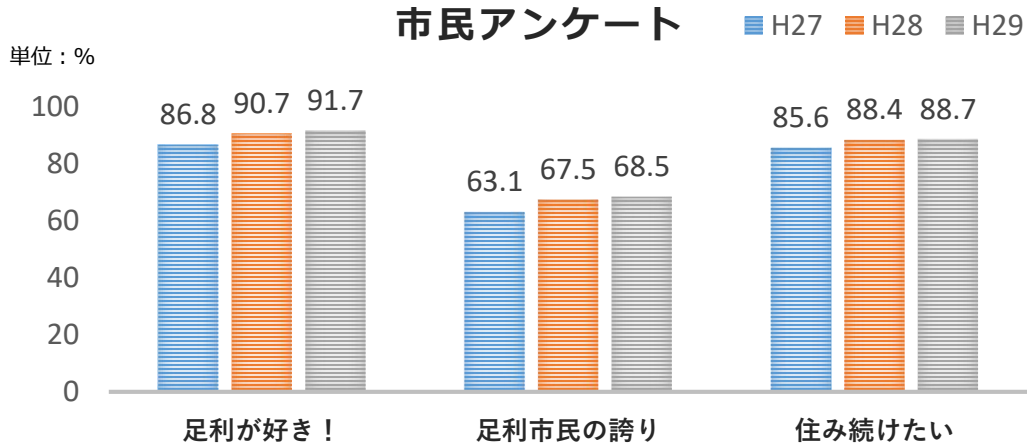
H27年(2015)年
H28年(2016)年
H29年(2017)年
H30年(2018)年

(2) 足利シティプロモーションの効果

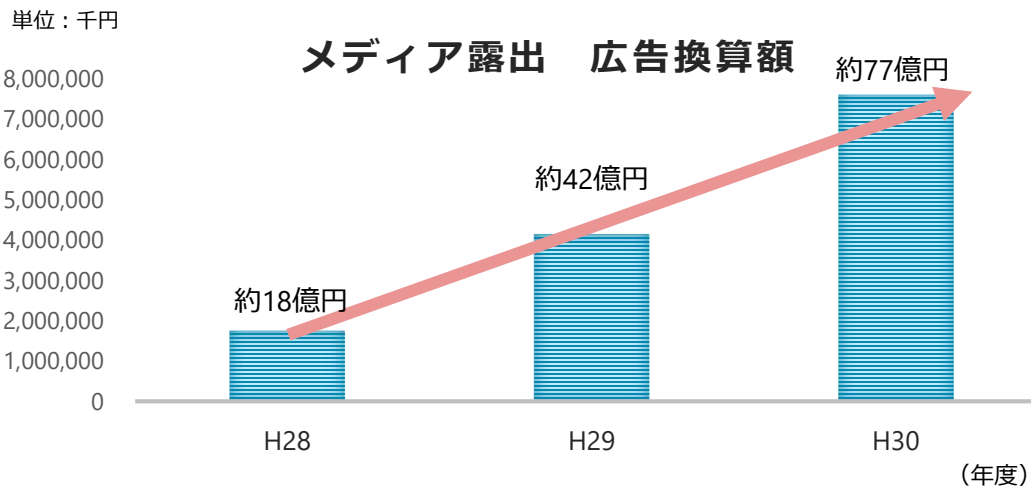
このように、足利市では、平成28年に策定した「足利シティプロモーション基本方針」を軸として様々なシティプロモーション活動を推進してきました。

▶ 1. はじめに、及び 7. 資料編参照

少しずつですが、まちに関心を持つ人が増え、またテレビ等に取り上げられることも増えました。



「足利が好き」な市民は多い！（直近で91.7%）
「好き」や「誇り」をシビックプライドにつなげていくことがシティプロモーションの課題



メディア露出・広告費換算だけでは質は見えてこない。
シビックプライド醸成につながる内容を意識したメディア対応もシティプロモーションの役目

3. 足利市が目指す将来都市像

3. 足利市が目指す将来都市像

(1) 足利市が目指すまちづくり【将来都市像】に向けて

足利市は、第7次足利市総合計画に掲げられた将来都市像の実現を目指しています。そして、足利シティプロモーションの役割はまちづくりの推進力となる「市民の力」を高めることです。

■ 第7次足利市総合計画に定める将来都市像

「学びあいつながりあい まぢ 元気に輝く都市 足利」

～ひとをつくり、産業をつくり、まぢをつくる～

足利市は、日本最古の学校のあるまぢとして脈々と受け継がれてきた自学自習の精神と、先人が守り育ててきた自然、歴史、文化及び産業などの多くの財産を有しています。

この精神と財産にさらに磨きをかけながら、まちづくりを推進していくのは、自分たちのまぢに愛着をもち、まぢのために自ら進んで考え、行動する「市民の力」です。

そして、この市民の力は、市民が自ら学び、お互いを育て、「人と人」「人と産業」「人とまぢ」がつながりあうことでさらに高まります。

令和3（2021）年には、足利市は市制施行100周年を迎えます。市民一人ひとりが郷土を愛し誇れる心を次代に継承していくことで、次の100年も希望にあふれ“元気に輝く都市”であり続けることを目指します。

（第7次足利市総合計画より抜粋）

まちづくりを推進していくのは、
自分たちのまぢに愛着をもち、
まぢのために自ら進んで考え、行動する

「市民の力」

この「市民の力」を高めていくことが
足利シティプロモーションの役割

将来都市像

学びあいつながりあい
元気に輝く都市 足利

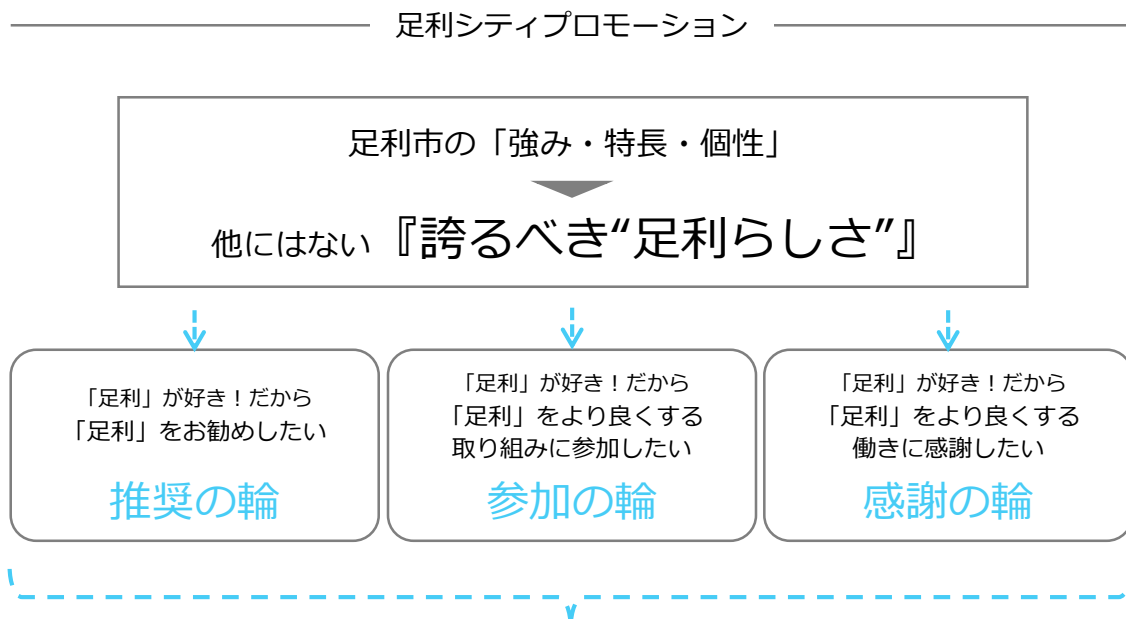
4. これからの足利シティプロモーション

4. これからの足利シティプロモーション

(1) 足利シティプロモーションの目的

人口減少と少子高齢化が進む地域社会において、5年後、10年後、そして100年後のまちの姿を見据えながら、活性化を図るためには、「市民の力」を推進力とすることが不可欠です。

そのような「市民の力」をもっと高めるために多くの地域資源が存在するまち足利市の「強み・特長・個性」を最大限に活用し、足利に関わる人、足利を愛する人、一人ひとりが感じている『誇るべき“足利らしさ”』を市内外に向けて発信し、これに対する**推奨・参加・感謝の輪**（⇒**足利シビックプライドの輪**）を広げていくことが、足利シティプロモーションの目的です。



足利シビックプライドの輪を広げる

足利市に対する

- ・一人ひとりのシビックプライドが高まる
- ・シビックプライドを持つ人が増える

足利シティプロモーションでは、平成29（2017）年度よりアドバイザーをお願いしている東海大学 河井孝仁教授の考えを基礎にしています。

河井教授は、まちに住む人たちや、まちの外からまちに共感する人による「まちをお勧めしたい」「まちを良くする取り組みを行いたい」「まちをより良くしようという働きに感謝したい」という意識を「地域参加意欲」と定義し、シティプロモーションはその「地域参加意欲」を持つ人を増やしてまちの活力につなげる取り組みとしています。（詳細は、P217.資料編参照）

4. これからの足利シティプロモーション

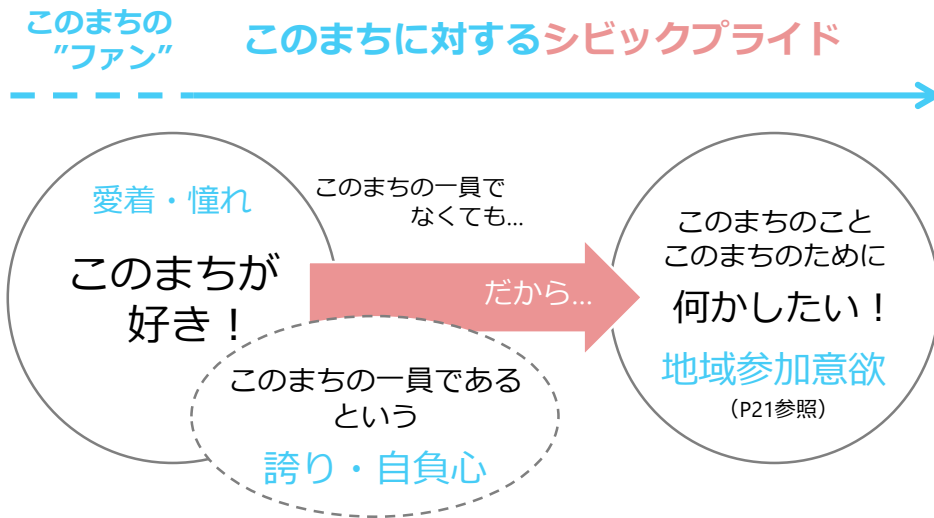
(2) まちへの愛着からシビックプライドへ

足利シティプロモーションでは、まちへの愛着や誇りに留まらず、“この都市（地域）をより良い場所にするために自分自身がかかわっている”という当事者意識、あるいは当事者としての誇りである「シビックプライド（注2）」につなげ、まちの活力とすることを目指します。

（注2）19世紀のイギリスの都市で生まれたものと言われ、個人個人がまちに抱く誇りや愛着のことを言います。市民の一人ひとりがまちを構成する一員であるという当事者意識を持って自発的にまちづくりに参加すること、まちをより良いものにするための取り組みに積極的に関わることを大切にする考え方です。しかしながら「シビックプライド」はあくまで、自由さや自律性を持った「感性」であり、必ずしも“地域参加”といった行動を伴うとは限りません。また必ずしも“まちの構成員”である必要もありません。

■シビックプライド研究会「シビックプライド」H20（2008）年「シビックプライド2」H27（2015）年 宣伝会議 を参考にしています。

～ 「このまちが好き！」からシビックプライドへ～



5. 足利シティプロモーションの今後の事業展開

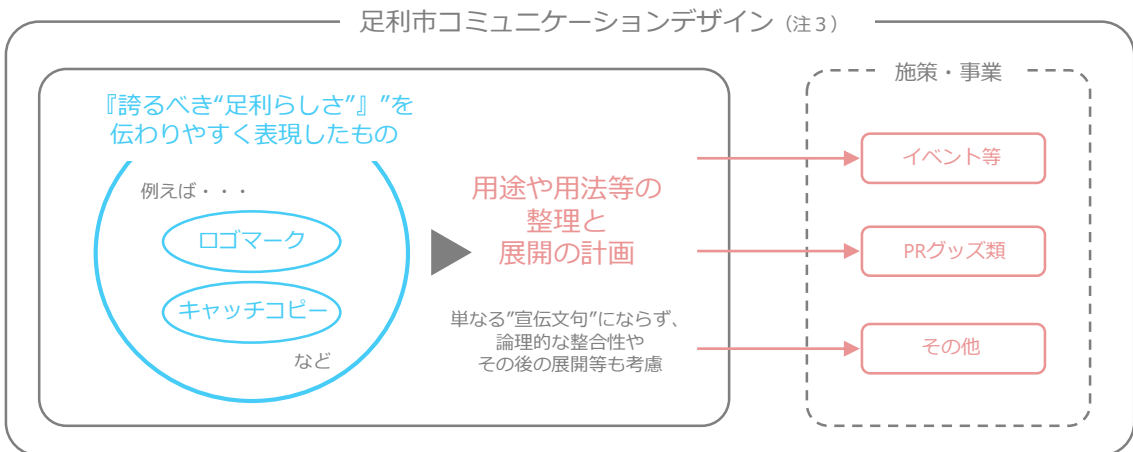
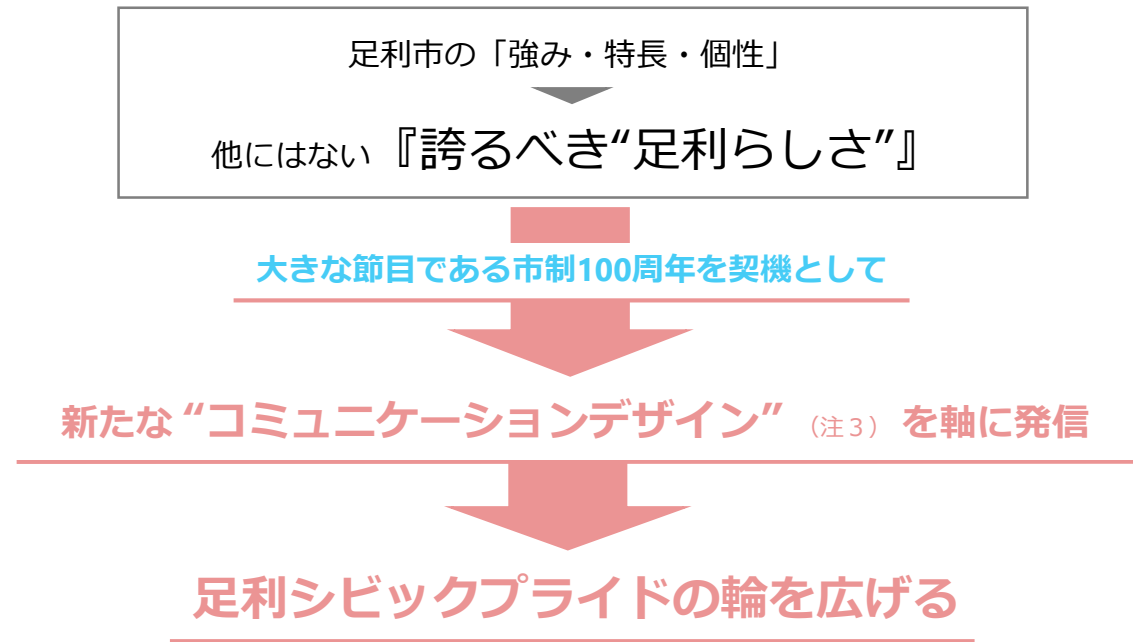
5. 足利シティプロモーションの今後の事業展開

(1) これからの足利シティプロモーションの方向性

これからの足利シティプロモーションでは、足利市にとって大きな節目となる市制100周年を契機として、「素通り禁止！足利」プロジェクトやこれまでの取り組みで再発見された足利市の「強み・特長・個性」を整理し『誇るべき“足利らしさ”』として表現します。

そして、それを形にした新たな“デザイン”を軸として、市内外に発信しコミュニケーションを図っていくことでシビックプライドの輪を広げていきます。

これからの足利シティプロモーション



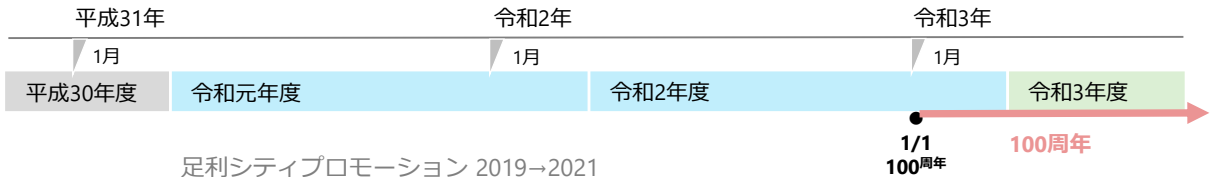
（注3）コミュニケーションデザインとはコミュニケーションの形や仕組み、すなわち「伝え方・伝わり方」をデザインするというものであり、単にロゴマークやキャッチコピー等を作成することだけではありません。

5. 足利シティプロモーションの今後の事業展開

H30年 (2018) 年
H31年 (2019) 年
R元年 (2019) 年
R2年 (2020) 年
R3年 (2021) 年

(2) 足利シティプロモーションは次の展開へ

令和3年1月、足利市は市制100周年を向かえます。足利シティプロモーションの次の展開では、この大きな節目を最大限に活用するために、年度単位ではなく3年間（令和元年～令和3年）を一つの取り組み期間として展開していきます。



足利シティプロモーション 2019→2021

「素通り禁止！」その先にあるもの。その先にある、足利へ。

- コミュニケーションデザインの整理
 - 『市制100周年』に向かう“潮流”の形成
 - 次の100年に向けての新しい足利の始まり

100年後の足利を、今、はじめよう。

(3) 「素通り禁止！足利」プロジェクトは市民の手により“自走”へ

「素通り禁止！足利」プロジェクトは、人々がまちの魅力を発散し共有するためのきっかけとなる仕組みです。

素通り禁止  足利

平成29年1月に始まったこのプロジェクトは、現在、#素通り禁止足利 によるSNSでの広がりや、市民ライターの活躍、民間企業との連携等により、行政による管理運営によることなく自走しはじめています。シティプロモーションのあるべき姿の一つと言えるでしょう。

市制100周年を控えた今、“素通りしない”で気がついた足利の財産を市民自らがつなぎ合わせ、活用するという段階にきています。これからも足利シティプロモーションのひとつの手法として、コミュニケーションデザインの中に位置付けていきます。

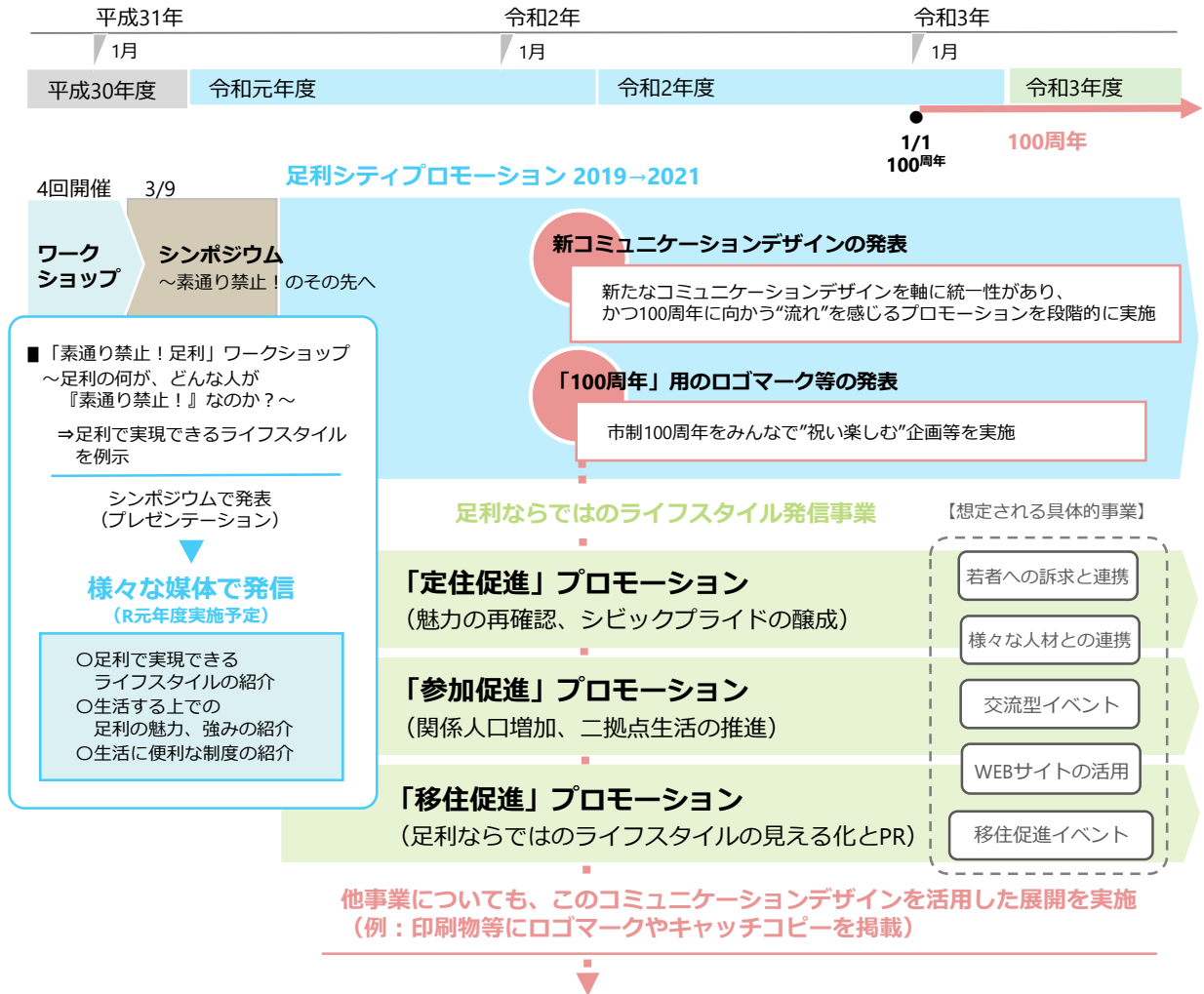
5. 足利シティプロモーションの今後の事業展開

H30年 (2018) 年
H31年 (2019) 年
R元年 (2019) 年
R2年 (2020) 年
R3年 (2021) 年

(4) 移住定住やまちへの参加促進事業との連携

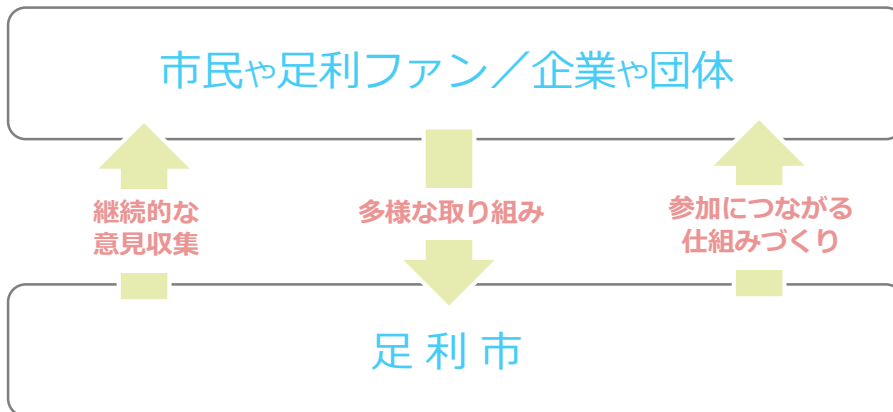
足利シティプロモーションは、足利ならではの「暮らし」を紹介し、移住・定住やまちへの参加促進につなげていく事業とも連携をします。

また、それぞれの事業についても、新たなコミュニケーションデザインに沿った展開を意識して実施します。



(5) 足利シティプロモーションの推進体制

足利シティプロモーションの各事業を進めるにあたっては、多くの市民や足利ファン、様々な企業や団体と連携し進めていきます。



6. 足利シティプロモーションの評価方法

6. 足利シティプロモーションの評価方法

(1) 足利シティプロモーション・ロゴマークやキャッチコピー等の評価

足利シティプロモーションのロゴマークやキャッチコピー等の浸透度や印象、共感度を市民アンケート等を通して調査します。

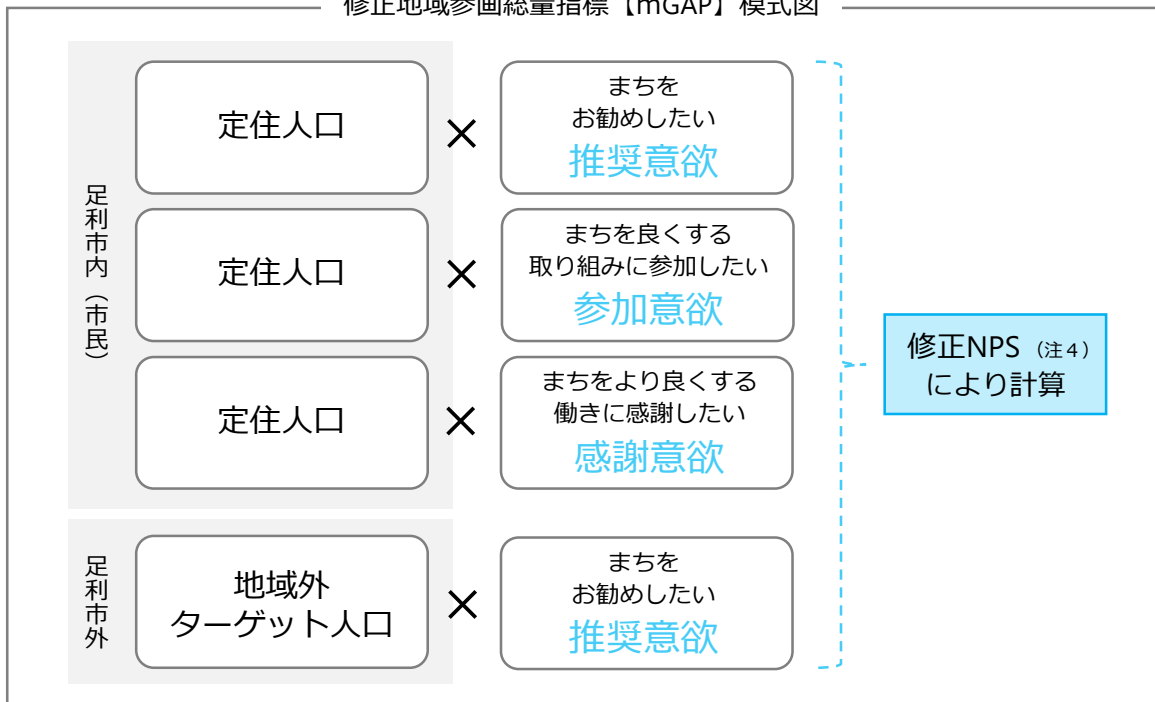
(2) 修正地域参画総量指標【mGAP】による地域参加意欲の定量化（評価）

地域参加意欲を構成する下記の3つの意識/意欲を定量化する方法が、東海大学文化社会学部河井孝仁教授が提唱する修正地域参画総量指標【mGAP（modified Gross Area Participation）】です。

- ・ 足利というまちをお勧めしたいと思う意識/意欲
- ・ 足利を良くする活動に参加したいと思う意識/意欲
- ・ 足利を良くする活動に対しての感謝したいと思う意識/意欲（⇒他人事と思わない気持ち）

市民及び市外ターゲットの地域参加意欲を定量化することで足利シティプロモーションの成果を評価します。

修正地域参画総量指標【mGAP】模式図



（注4）修正NPS（ネット・プロモーター・スコア）とは経営コンサルタントのF・ライクヘルドにより提唱された、顧客満足度を客観的に計測するための手法を基に、河井教授が日本におけるシティプロモーション評価に適合するよう一部修正したもの。

7. 資料編

(1) シティプロモーションとは

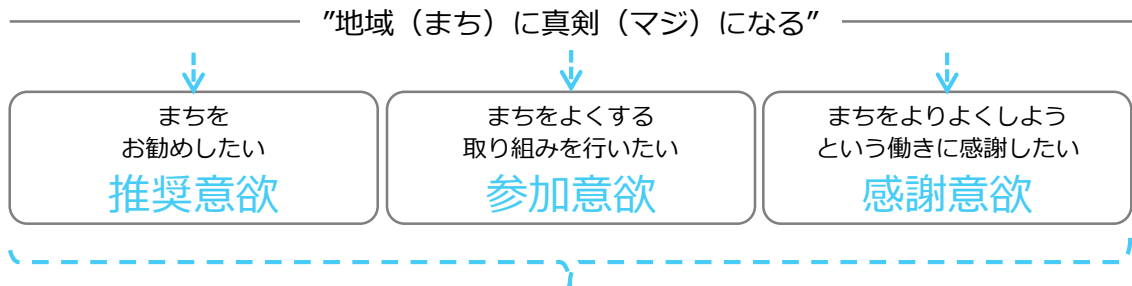
足利シティプロモーションでは平成29（2017）年度より東海大学文化社会学部 河井孝仁教授にアドバイザーをお願いしています。

河井教授は、著書の中でシティプロモーションについて、以下のように書かれています。

「シティプロモーションとは何か」をひとこと言うなら
「地域（まち）に真剣（マジ）になる人を増やすしくみ」だと言えるだろう。
地域（まち）に真剣（マジ）になる人を増やすことによって、地域（まち）の力を強くする。
それがシティプロモーションである。

シティプロモーションは、まちをいきいきさせるための、
熱を持ったしなやかな土台をつくる取組みである。
まちに住む人たちや、まちの外からまちに共感する人たちによる、
「まちをお勧めしたい」「まちをよくする取組みを行いたい」
「まちをよりよくしようという働きに感謝したい」という意欲をまちに取り込むことが、
熱を持ったしなやかな土台をつくることになる。

■ 「シティプロモーションでまちを変える」H28（2016）年 彩流社、「失敗からひも解くシティプロモーション」H29（2017）年 第一法規より



こういった意欲をまとめて**地域参加意欲**といいます。

河井教授によると、「シティプロモーション」とは以下ようになります。

シティプロモーションとは

- ・ 一人ひとりの**地域参加意欲**を高める
- ・ **地域参加意欲**を持つ人を増やしていく

活動やしぐみ、取組みである。

(2) 平成30（2018）年度足利シティプロモーション推進事業【ワークショップ】

平成30年度足利シティプロモーションではアドバイザーである河井教授、および足利シティプロモーション基本方針を策定したスタッフを交え、協議を重ねながら、平成30年度のシティプロモーション推進事業を企画実施いたしました。

そのうえで、「足利の何が、どんな人が『素通り禁止！』なのか？」市民の皆様と今一度よく考えてみたいと思い、【ワークショップ】を開催いたしました。

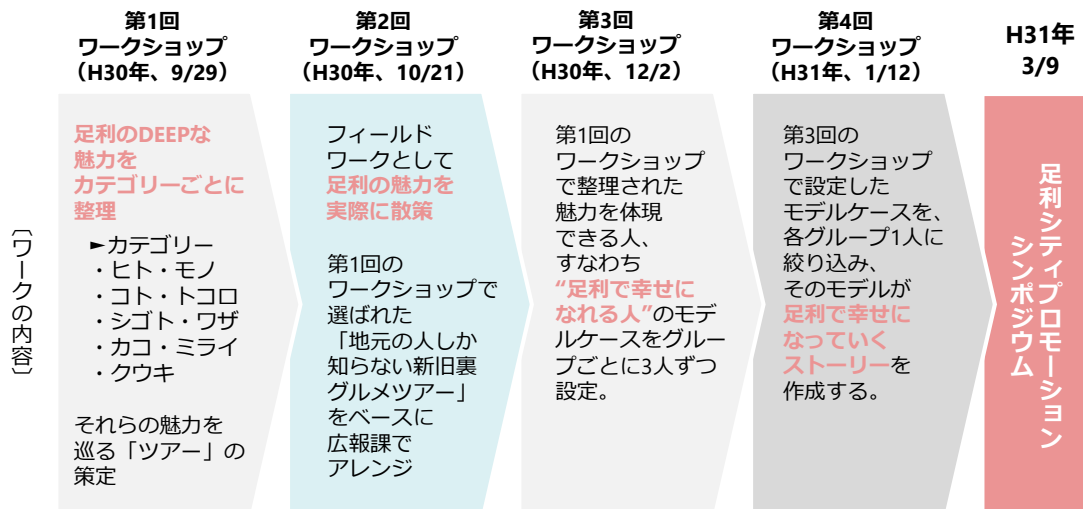
また、そのワークショップ活動の発表の機会として、そして市制100周年を迎えるにあたり、足利シティプロモーションはどうなっていくべきかを市民の皆様と共有する機会として、【シンポジウム】を開催いたしました。

河井教授との打合せ

日付	場所	協議内容（主たる議題）
平成30年5月11日（金）	都内カフェ（代々木）	平成30年度足利シティプロモーションの考え方・進め方について
平成30年6月20日（水）	東海大学（神奈川県・秦野）	平成30年度足利シティプロモーションの考え方・進め方について
平成30年7月17日（火）	広告会社（東京都・京橋）	平成30年度足利シティプロモーションの考え方・進め方について
平成30年9月20日（木）	都内貸し会議室（新宿）	第1回ワークショップの進め方について
平成30年11月26日（月）	都内カフェ（代々木上原）	第3回ワークショップの進め方について
平成30年12月21日（月）	都内ホテルラウンジ（品川）	第4回ワークショップおよびシンポジウムの進め方について
平成31年3月7日（木）	羽田空港内カフェ（東京都）	シンポジウムの進め方について

足利シティプロモーション

ワークショップ～シンポジウム



★各ワークショップ及びシンポジウムの進行（ファシリテーター）は河井教授（第2回のフィールドワーク「足利DEEPツアー」を除く）

第1回ワークショップ

足利のDEEPな魅力をカテゴリーごとに整理

日時
場所

○平成30（2018）年9月29日（土）13時～16時
○コミュニティカフェ「マチノテ」

ワーク
内容

○足利のDEEPな魅力をカテゴリーごとに整理。（A、B、C、Dのグループに分かれて）
▶カテゴリー ・ヒト・モノ・コト・トコロ・シゴト・ワザ・カコ・ミライ・クウキ
○それらの魅力を巡る「ツアー」の策定
▶各グループのプレゼンテーションにより次回のワークショップ（フィールドワーク）で実施する「ツアー」を決定する。



「ツアー」に
決定したプラン



ワーク

第2回ワークショップ

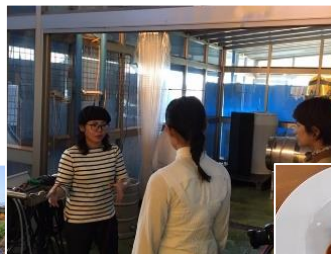
足利のDEEPな魅力を実際に散策（フィールドワーク）

日時
場所

○平成30（2018）年10月21日（日）9時半集合～18時解散
○足利市役所駐車場（集合・解散）～足利市内各所

ワーク
内容

○フィールドワークとして足利の魅力を実際に散策。
○第1回のワークショップで選ばれた「地元の人しか知らない新旧裏グルメツアー」をベースに広報課でアレンジ。



第3回ワークショップ

“足利で幸せになれる人”のモデルケースの設定

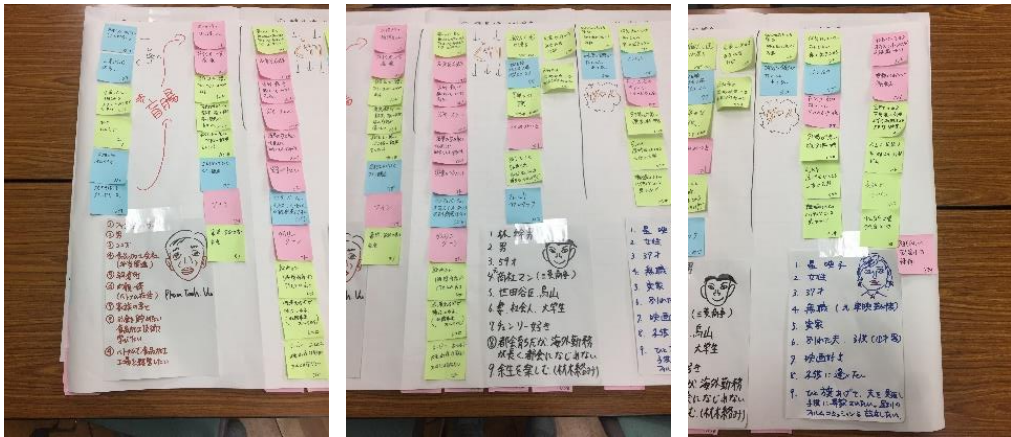
日時
場所

○平成30（2018）年12月2日（日）13時～16時
○足利市生涯学習センター

ワーク
内容

○第1回のワークショップで整理された魅力を体現できる人、
“足利で幸せになれる人”のモデルケースをグループごとに3人ずつ設定。

例：Aグループ



第4回ワークショップ

足利で幸せになっていくストーリーの作成

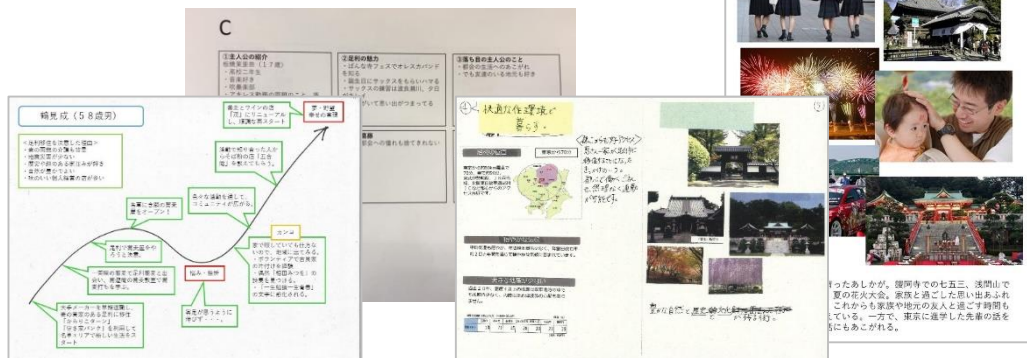
日時
場所

○平成31（2019）年1月12日（土）13時～16時
○足利市生涯学習センター

ワーク
内容

○第3回のワークショップで設定したモデルケースを、各グループ1人に絞り込み、
足利で幸せになっていくストーリーを作成する。
▶成果物は「足利シティプロモーションシンポジウム」にて発表する。
(プレゼンテーション)

グループごとにストーリーの設定が異なるだけではなく、
プレゼンテーションに向けてのまとめ方や見せ方も様々。



(3) 平成30 (2018) 年度足利シティプロモーション推進事業【シンポジウム】

シンポジウム

～『素通り禁止!』がくれたもの～

日時
場所

○平成31 (2019) 年3月9日 (土) 13:30～16:40
○足利市民会館 小ホール

足利の「魅力」を表現した写真を
パネルにて掲出展示

150～200人が着席できるよう椅子を配置
※状況に合わせて増減



素通り禁止! 足利

足利シティプロモーション シンポジウム

～『素通り禁止!』がくれたもの～

「素通り禁止! 足利」プロジェクトがスタートして2年がたちました。
そして今、多くの皆さんの手によりその輪は広がっています。
このシンポジウムでは、これまで関わりのある方々をお招きし
足利シティプロモーションについて様々な角度から考えます。
そして一緒に次のステージへとスタートしましょう!

日時 3月9日 (土) 13:30～16:40 (受付 13:00～) 会場 足利市民会館 小ホール (足利市有楽町 837)

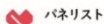
入場無料
先着 **150人**
※要事前申し込み

申込方法 メールまたは電話で事前申し込みをしてください。詳しくは裏面をご覧ください。
☎ office@city.ashikaga.lg.jp ☎ 0284-20-2261 (足利市役所 広報課 シティプロモーション担当宛)



総合コーディネーター
東海大学 文化社会学部 広報メディア学科 教授 河井 孝仁さん

博士 (情報科学・名古屋大学) 静岡県庁入庁、静岡県庁企画部情報政策室、(財) 静岡総合研究機構派遣等を経て、2010年より現職。
多数の自治体のシティプロモーションに関わり、2017年から足利市のシティプロモーションアドバイザーも務める。
著書に『シティプロモーションでまちを変える』『ソーシャルネットワーク時代の自治体広報』『シティプロモーション 地域の魅力を工作して』『失敗』からひも解くシティプロモーションに「成否」をわけたのキラー」など多数。



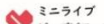
パネリスト
タレント 手島 優さん

あしかか輝き大使、とちぎ未来大使。
足利市瑞辺町生まれで、市内の小中高校を卒業。
実家は市内の老舗旅館。
タレントとして多くのテレビ番組等に出演中。



パネリスト
歌手 小田 えつこさん

足利市在住。
ジャンルを越えた幅広いレパートリーと軽快なトーク
で観客を魅了するライブを各地で展開中。
市内のイベントや市主催のイベントにも多数出演。



ミニライブ
ジャズピアニスト 板橋 文夫さん

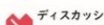
1949年足利市生まれ。遠辺員夫フインテットでプロデビューし、その後も国内外の著名なミュージシャンと多くのステージに立つ。昨年6月には「あしかかアートクロス」の一環として足利織姫神社で開催された「踊る身体 踊り場・叩き場」でダンサー・田中浪氏と共に出演した。



足利にちなんだ
エンターテインメント
パフォーマンスも



ダンスパフォーマンス
雅縁軍 KAENN-GUN



ディスカッションゲスト
クリエイティブディレクター 佐倉 康彦さん

足利市出身の著名なコピーライター、クリエイティブディレクター、サントリー・ザ・カクテルバー「愛だろ愛!」や、最近では総合人材サービスパーソルホールディングスの企業スローガン「はたらいて、笑おう。」等、多くの有名企業のコミュニケーションデザインを担当。

足利市在住のダンサー shor-Aにより結成されたダンスグループ。「栃木から世界へ」をモットーに、小中学生をメインに2018年2月に結成。2018年、世界的なダンスコンテスト「WORLD OF DANCE」にて過去最高得点を記録し、アメリカで行われた決勝への進出。
足利市がメインロケ地となったドラマ「今日から俺は!!」のダンス動画が話題沸騰中の今注目のグループ。

問合せ・申し込み: 足利市 総合政策部 広報課 シティプロモーション担当

☎ office@city.ashikaga.lg.jp ☎ 0284-20-2261 (受付時間 月曜日から金曜日 8:30～17:00) 主催: 足利市

素通り禁止足利 検索



シンポジウム

～『素通り禁止!』がくれたもの～

足利シティプロモーションシンポジウム

～『素通り禁止!』がくれたもの～

入場無料

日時 3月9日(土) 13:30～16:40 (受付 13:00～)

定員 150人

会場 足利市民会館 小ホール (足利市有楽町 837)

※素通り禁止! 足利

※プログラムは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

第1部	13:30	開演	総合コーディネーター：足利シティプロモーションアドバイザー 河井孝仁さん
	13:35	パネルディスカッション	テーマ：『素通り禁止!』がくれたもの パネリスト：タレント 手島 優さん 歌手 小田えつこさん ほか、市民パネリストも参加
	14:40	パフォーマンス	足利プロモーション動画「ありのままの足利を。」上映 ミニライブ：ジャズピアニスト 板橋文夫さん
	15:00	休憩	
第2部	15:15	ショートプレゼンテーション	「足利だから実現できるライフスタイル」 半年間のワークショップに参加された皆さんが発表します。 発表者：足利市広報課 永井 健太さん 足利シティプロモーション推進協議会 久保 孝平さん 素通り禁止!足利市民ライター 石倉 康行さん NPO 法人おとむり 北林 夏さん
	16:10	ディスカッション	テーマ：『素通り禁止!』のその先へ ゲスト クリエイティブディレクター：佐倉康彦さん
	16:20	パフォーマンス	「今日から俺は!!」ダンスパフォーマンス：雅縁軍 (KAENN-GUN)
	16:40	閉演	

申込方法 「メール」または「電話」でお申込みください

メールでお申込み 募集人数 150人 ※先着順

office@city.ashikaga.lg.jp

電話でお申込み 0284-20-2261

受付時間 平日 8:30～17:00

申込時必要事項

①氏名
②電話番号
③同伴者氏名 (最大5名まで ※同伴者がいる場合のみ)

足利市民会館のご案内

〒326-0801 足利市有楽町 837 ☎0284-41-2121

駐車場は地図のPの場所をご利用ください
北関東自動車道足利インターから6分

JR 南毛線足利駅から徒歩20分 (タクシー10分)
東武伊勢崎線足利駅から徒歩30分 (タクシー15分)

これまでの足利シティプロモーションを振り返り、『素通り禁止! 足利』が足利市内外にあたえてくれたもの、市民や市外の人々の意識変化などを再認識しました。

H30年(2018)度の足利CP推進事業の【ワークショップ】で生み出された“足利だから実現できるライフスタイル”を市民がプレゼンテーションしました。

このストーリーをベースに、足利市の具体的な施策等を織り交ぜて紹介していくパンフレット・リーフレットなどを(⇒定住・移住促進ツールとして)制作することも検討。※次年度以降

～『素通り禁止!』のその先へ～

今後の足利シティプロモーションが目指すこと、向かう方向を市長、河井教授に足利市出身のクリエイティブディレクター 佐倉氏を交えてディスカッションしました。



「第2回足利学び舎観光ロゲイニング」の開催について

健康福祉部 健康増進課
(電話 0284-22-4512)

1 趣旨

歩いて^{けんこう}健幸になる、歩きたくなるまちをつくるために推進している「スマートウェルネスあしかが」の取り組みの一環として、昨年に引き続き「観光ロゲイニング」を開催することとなりました。

今回のイベントは、申し込みに際し、「足利市こども夢基金」の賛同者から寄付を募ることや、市内で撮影された一部の「ロケ地」も巡れる企画としましたので報告するものです。

「観光ロゲイニング」は、地図を見ながら目的のポイントを探し、写真を撮影して周るイベントです。家族などグループで参加でき、観光・スポーツ・健康増進など様々なニーズに合わせて楽しむことができます。また、飲食店などをポイントとすることで商業活性化にも繋がります。

2 開催概要

(1) 日時

令和元(2019)年10月22日(火・祝) 10時～15時※①

(受付：9時～ スタート：10時 表彰式：13時45分～(ファミリー・ウォークの部)、14時45分～(一般の部))

(2) スタート・ゴール会場 足利商工会議所友愛ホール

(3) 参加者情報

・一般の部 : 18歳以上(高校生不可)

・ファミリーの部：高校生以下とその家族

※家族には、1以上の保護者(子どもの保護者又は18歳以上の者(高校生不可)で監督責任がとれる者)の参加が必要です。

・ウォークの部 : 18歳以上(高校生不可)

全て2～5名のグループエントリー

定員 先着250名※②(市内外を問わずどなたでも参加可能)

(4) 参加料

1人 1,000円(高校生以下は無料)

※足利市こども夢基金の賛同者については1人 1,100円※③

【足利市こども夢基金とは】

足利市は「未来を担う夢を持った子どもたちの健やかな成長」を願い、基金を創設しました。足利観光ロゲイニングの参加者で、この趣旨に賛同いただいた方は、参加料より100円を基金に寄附します。

(5) 内容

地図をもとに、史跡や名所などの指定されたチェックポイントを制限時間内にめぐり、写真を撮って得点を競うスポーツです。周ったチェックポイントの合計得点で順位を決定します。上位のチームなどに賞品を贈呈します。

今回は、映像のまち推進課と連携し、チェックポイントの一部を市内で撮影されたロケ地とします。※④

(6) 主催

足利観光ロゲイニング実行委員会（足利市観光協会、足利商工会議所、足利市坂西商工会、足利商業連合会、足利市）

(7) 事務局

足利市（健康増進課）、一般社団法人ポジティブスポーツ振興協会

* 地図の作成、インターネット受付、当日の運営（ルール含む）などを「一般社団法人ポジティブスポーツ振興協会」に委託し実施します。

(8) 申込方法

インターネットサイト「スポーツエントリー」または「ランネット」で、8月1日（木）から10月14日（月・祝）まで申し込みを受け付けます。2～5名のグループ単位の申し込みとなります。

申し込みに関する問い合わせ先

大会事務局「一般社団法人ポジティブスポーツ振興協会」

電話 0467-33-5813

※前回との変更点

①開始時間を1時間早めました。

②定員を50名増員しました。

③足利市こども夢基金と連携します。

④チェックポイントの一部に市内ロケ地とします。

第1回 足利学び舎観光ロゲイニング 開催結果

好天のもと、平成30年10月21日 日曜日に足利商工会議所をスタート・ゴール会場として、「足利学び舎観光ロゲイニング」を開催しました。

足利商工会議所友愛ホールに椅子を並べ、会場準備完了。コースごとに受付しました。

申込人数は 87組 243名 半分以上がファミリーの部の参加者でした。

受付で配った参加賞及び、成績上位チームへの賞品につきましては、地元企業からご協賛をいただきました。感謝申し上げます。



当日のルール説明風景です。

ロゲイニングに初参加の方が多かったためか、みなさま真剣に耳を傾けていました。



午前11時に一斉にチェックポイントの地図を配布。今回のチェックポイントは全部で39か所。どの順で周るか作戦を練ってからスタートです。



各ポイントを周る参加者の様子です。

渡良瀬橋歌碑 を撮影するとポイント15点獲得です。

飲食ポイント

今回お世話になりました、「ふくやベーカリー、大日茶屋、プラザハマダ」で写真を撮ると10ポイント。

買い物し、食べているところの写真を撮るとさらに10ポイント。



ゴール後は、集計シートに周ったチェックポイントを順に記入してもらい、カメラを見せてもらいながら写真をチェックします。



写真チェック、検算した集計シートを得点の高い順に張り出します。

参加者は自分のチームの順位や、高得点チームの周り方などに興味津々の様子でした。



カテゴリーごとに第1位～3位までのチームを表彰しました。

ファミリーの部優勝チーム

親子で24か所周りました。



一般の部優勝チーム

39か所の全チェックポイント完全制覇です！



最後に記念写真を撮影



次回も楽しいイベントになるよう準備します。みなさまのご参加をお待ちしております。

参加者募集

足利の街をステージに話題のナビゲーションスポーツ開催!

健康×スポーツ×観光

第2回 足利学び舎観光

ロゲイニング

令和元年10/22(火)祝 午前10時スタート!



ロケ地もポイントに!
 今回のロゲイニングではポイントの一部を市内で撮影されたロケ地とします。

ロゲイニングって?

地図を見ながら目的のポイントを探し、写真を撮影して回るイベント。
 家族や仲間と楽しむスポーツ観光♪



日時 令和元年10月22日(火)祝
 受付: 午前9時～ / スタート: 午前10時～

会場 スタート・ゴール会場: 足利商工会議所友愛ホール (足利市通3丁目2757)

種目・参加資格

- *全て2～5人のチームエントリーです。
- *高校生以下は、高校生を除く18歳以上の保護者の同伴が必要です。

一般の部 18歳以上(高校生不可)

ファミリーの部 高校生以下(未就学児含)とその保護者(18歳以上、高校生不可)

ウォークの部 18歳以上(高校生不可)

参加料 1人1,000円 (高校生以下は無料)
 *足利市子ども夢基金の賛同者は1人1,100円です。

定員 先着250人

募集期間 令和元年8月1日(木)～10月14日(月)

申込方法 「スポーツエントリー」または「ランネット」のホームページからエントリー。

インターネット申込についての問合せ
 大会事務局 一般社団法人ポジティブスポーツ振興協会
 TEL: 0467-33-5813

その他の問合せ
 足利市役所健康増進課 **TEL: 0284-22-4512**



主催:足利観光ロゲイニング実行委員会【足利市、一般社団法人足利市観光協会、足利商工会議所、足利市坂西商工会、足利商業連合会】
 後援:栃木県、栃木県教育委員会、足利市教育委員会、足利市体育協会、朝日新聞宇都宮総局、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞東京本社、NHK宇都宮放送局、向毛新聞社、織姫新聞社、わたらせテレビ、東武鉄道、JR東日本高崎支社(順不同、敬称略)
 協力:公益財団法人足利市みどり文化・スポーツ財団

***10月観光情報**

【大岩毘沙門天秋祭】

奈良の信貴山・京都の鞍馬山とともに、日本三大毘沙門天の一つとして知られる大岩毘沙門天(最勝寺)で秋季大祭御護摩修行(秋祭)が行われます。

日 時:10月1日(火)午前5時30分、午前10時、午後1時30分(毎年10月1日開催)

場 所:大岩毘沙門天(大岩町264)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅から車で約20分

JR両毛線足利駅から車で約20分

北関東自動車道足利ICから約30分

東北自動車道佐野藤岡ICから約50分

問合先:最勝寺 ☎0284-21-8885

【物外軒茶室無料公開】

物外軒茶室(市指定有形文化財 昭和43年11月1日)は、当初、猿田で江戸時代から回漕問屋を営んでいた「萬屋」の三代目 長 四郎三(ちょうしろぞう)氏によって、明治初期に渡良瀬川河畔の萬屋邸内に建てられました。その後、明治34年に、現在の地に移築されました。昭和48年に、所有者である鈴木栄太郎氏により、庭園とともに足利市に寄付されました。

平成18年には、文化財庭園保存技術者協議会の実地研修の場として物外軒の庭園整備が実施されました。その結果、庭園全体が明るくなり、庭園の主体となる木々(アカマツやモミジ)の存在が強調され、池の護岸に並べられた大きな石が良くわかるようになるなど庭園の魅力が際立つようになりました。その後、庭園を構成する飛び石や池などの詳細な測量が行われ、平成20年3月28日、国登録記念物(名勝地)として登録されました。

無料公開は、春と秋の土・日・祝日に行なわれています。お茶会開催日を除き、抹茶の無料サービスも行っておりますので、秋の「物外軒の美」をぜひご覧ください。

日 時:10・11月の土・日・祝日 各日午前9時～午後4時

場 所:物外軒(通6丁目3165番地2 織姫公民館裏)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅から徒歩約20分

JR両毛線足利駅から徒歩約20分

北関東自動車道足利ICから約15分

東北自動車道佐野藤岡ICから約40分

問合先:足利市文化課文化財保護・世界遺産推進担当 ☎0284-20-2230

【大小山火祭り】

毎年10月の体育の日に行われる火災除けの行事です。火事よけ、無病息災、心願成就をお祈りし、お護摩を焚いた上を裸足で渡ります。火渡り修業の参加は自由です。

日 時:10月14日(月・祝) 午前11時～(雨天決行)

場 所:鳳仙寺(西場町756)

交 通:JR両毛線富田駅から徒歩約20分

東武伊勢崎線足利市駅から車で約25分

北関東自動車道足利ICから約15分

東北自動車道佐野藤岡ICから約30分

問合せ:鳳仙寺 ☎0284-64-9020

【門前マルシェ】

5回目の開催を迎える今回は、これまでの歩行者天国でのアンティーク、古着、古道具、雑貨等の販売や飲食店の出店に加え、羽釜で炊いたお米をメインとした秋の味覚を楽しめる「ファーマーズテーブル」などを予定しています。

日 時:10月6日(日) 午前11時～午後4時

場 所:学校様通り(史跡足利学校前)、東和銀行駐車場、まちなか遊学館駐車場

問合せ先:足利市観光振興課 ☎0284-20-2165

【下野國一社八幡宮秋祭】

下野國一社八幡宮は、八幡太郎の名で有名な源義家が、陸奥の豪族・安倍頼時父子との戦いの勝利を祈願して創建したのが始まりといわれています。

また、境内には縁切りで有名な門田稻荷神社があります。

秋祭では、南大町宮比講神楽(市指定無形文化財 昭和58年2月23日)が披露されます。

日 時:10月16日(水) (毎年10月16日)

場 所:下野國一社八幡宮(八幡町387)

内 容:御神楽 午前10時～午後3時頃 (参拝は午後8時まで)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅から車で約5分、徒歩約20分

JR両毛線足利駅から車で約10分、徒歩約30分

問合せ先:下野國一社八幡宮社務所 ☎0284-71-0292

【樺崎八幡宮秋祭】

鑿阿寺の開基として知られる源姓足利氏2代目の義兼が、その生涯を閉じた地に建てられ

「観光振興課（観光協会提供）」

たのが樺崎八幡宮です。秋祭では、樺崎八幡宮^{だいだいかぐら}太々神楽（市指定無形文化財 昭和58年2月23日）の披露や、地元による模擬店が出店します。

日 時:10月20日(日) (毎年10月の第3日曜日)

場 所:樺崎八幡宮(樺崎町1261)

参加費:無料

内 容:祈祷 午前11時～午前11時30分(予定)

神楽 午前10時～午後3時(予定)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅から車で約20分

JR両毛線足利駅から車で約15分

問合せ先:樺崎八幡宮総代長 斉藤宅 ☎0284-41-3504

【第2回足利学び舎観光ロゲイニング】

地図を見ながら目的のポイントを探して写真を撮影して回るイベントが開催されます。家族などグループで参加でき、目的に応じてスポーツや観光として楽しむことができます。今回のロゲイニングでは、ポイントの一部を市内で撮影されたロケ地としています。

日 時:10月22日(火・祝) 受付:午前9時～ スタート:午前10時～

場 所:足利商工会議所友愛ホール(スタート・ゴール会場) (通3丁目2757)

定 員:一般の部・ファミリーの部・ウォークの部/先着250人

※参加資格として全て2～5名のチームエントリーとなります

参加料:1人1,000円(高校生以下は無料)

※足利市子ども夢基金の賛同者は1人1,100円。

問合せ先:足利市健康増進課 ☎0284-22-4512

【第19回あしかが坂西軽トラ市】

坂西地区の活性化とにぎわいの創出を目指し、軽トラック、自動車の荷台を利用して、農産物、加工品、手作り品、飲食品などの販売を行うイベントです。会場は、千蔵院前の通りを歩行者天国にして開催します。

日 時:10月20日(日)午前8時～正午まで ※雨天決行

場 所:足利市葉鹿町:千蔵院～ふじさわクリニック通り

■メインステージ・本部

7:50～ 開会式

8:00～ 写真コンテスト表彰式

8:10～ サザンクロス

9:10～ てんて鼓舞

「観光振興課（観光協会提供）」

9:50～ 小俣八木節同好会
10:30～ アロハピカケフラスタジオ
11:30～ 抽選会

- 住宅無料相談会(8:00～12:00)
- さかにしミニグルメ(8:00～売り切れ次第終了)
- 卵のつかみ取り(8:00～なくなり次第終了)

駐車場:公営住宅、武道館 ほか

問合先:足利市坂西商工会 ☎0284-62-0346

【毛野大坊山ハイキング大会】

標高285mの大坊山を頂上とする約6km、3時間半の低山コースです。

途中、起伏の大きいところもありますが、尾根からは日光連山や赤城山、更に渡良瀬川を挟んで関東平野も一望でき、素晴らしい眺望で、特に初心者や家族連れにお勧めのコースです。

大山祇神社(大沼田町)では、大山祇神社太々神楽だいだいかぐら(市指定無形文化財 昭和40年10月1日)が披露されます。

日 時:10月27日(日) 午前9時～出発式 (毎年10月の第4日曜日)

コース:山川町長林寺公園…大坊山山頂…大山祇神社…山川町長林寺公園

交 通:東武伊勢崎線足利市駅から車で約15分

JR両毛線足利駅から車で約10分

両駅から生活路線バス富田線で「上宮先」、下車後徒歩で約10分

北関東自動車道足利ICから車で約10分

問合先:(一社)足利市観光協会 ☎0284-43-3000

【まちなかハロウィン2019】

2016年からスタートした足利市内通1～4丁目商店街を中心に開催されるハロウィンイベント。商店街の街歩きやワークショップ、グルメ、仮装コンテストなどイベント盛りだくさんです。

日 時:10月19日(土) 午前10時～午後6時30分

場 所:足利商工会議所友愛ホール(通3丁目2757)、中心商店街(足利駅前商店街～通4丁目周辺)

時 間:10:00～16:00 まちなかハロウィンお店めぐり、ハロウィン・ワークショップ&グルメブース

17:00～18:30 まちなかハロウィン仮装コンテスト

※参加資格:仮装されている方 受付時間:14時～16時(友愛ホール受付)

問合先:まちなかハロウィン実行委員会 ☎0284-21-1354

【フラワーファンタジー ～光の花の庭2019～】

（一社）夜景観光コンベンション・ビューローより「日本三大イルミネーション」に認定されているほか、イルミネーションアワード（2016年～2018年）のイルミネーション部門で3年連続全国第1位を獲得したイルミネーションイベントが今年も開催します。500万球のイルミネーションに彩られた幻想の世界では、最先端LEDによる光の壁画「レインボーマジック～未来へのかけ橋～」や「フラワーキャッスル」、「光のバラ園」、「光の睡蓮」などがパーク内を華やかに彩ります。神秘的な大藤棚もイルミネーションで再現しており、人気があります。イルミネーションの点灯は、午後4時30分頃です。

日 時:10月26日(土)～2月6日(木)

(平日)午後3時30分～午後9時

(土・日・祝)午後3時30分～午後9時30分

※12月31日(火)は休園。新年は元旦から営業します。

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町607)

料 金:(夜間料金) 大人1,000円、子供500円

交 通:JR両毛線あしかがフラワーパーク駅から徒歩約3分

東武伊勢崎線足利市駅から車で約20分

北関東自動車道足利ICから車で約15分

東北自動車道佐野藤岡ICから車で約18分

問合せ先:あしかがフラワーパーク ☎0284-91-4939

花 情 報

夏から秋へ、秋の訪れを感じさせてくれる花等をご紹介します。

下記の3種類(すいれん、ハーブ、アメジストセージ)は、いずれも、あしかがフラワーパーク(迫間町607、☎0284-91-4939)でご覧いただけます。

交 通:東武伊勢崎線足利市駅から車で約20分

JR両毛線あしかがフラワーパーク駅から徒歩約3分

北関東自動車道足利ICから約20分

東北自動車道佐野藤岡ICから約30分

【すいれん】

紅・紫・白等の色鮮やかで涼やかな熱帯性スイレンが可憐に咲きほこります。

時 期:6月下旬～11月下旬

「観光振興課（観光協会提供）」

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町607)

【ハーブ】

1,000㎡のハーブガーデンには、様々なハーブが育ち、その色と香りが楽しめます。

時 期:5月～11月頃まで

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町607)

【アメジストセージ】

2万株の紫色の花が咲き乱れます。一番の見頃は10月中旬から11月中旬です。

時 期:10月上旬～11月下旬頃まで

観光果樹園

【ぶどう】

期間は、7月中旬～10月下旬頃までですが、ぶどう園やぶどうの種類によって収穫期間が異なりますのでお問合せください。

・中村ぶどう園	大沼田町842	☎0284-91-1230	※摘み取り体験は要相談
・戸叶ぶどう園	大沼田町1189	☎0284-91-0727	
・堀越ぶどう園	大沼田町1190	☎0284-91-0433	※摘み取り体験は不可
・久保ぶどう園	名草上町3297	☎0284-41-9055	
・尾花ぶどう園	久保田町672-1	☎0284-72-6790	

体験

【八木節】

日本三大音頭の一つとされている、足利の郷土芸能「八木節」公演をご鑑賞頂いたり、実演を楽しんだりしてみませんか。

場 所:八木節会館(福居町580-1)

内 容:八木節の公演等

料 金:足利市八木節連合会へご確認ください

交 通:東武伊勢崎線福居駅から徒歩約10分

JR両毛線足利駅から車で約15分

北関東自動車道足利ICから約20分

東北自動車道佐野藤岡ICから30分

問合先:足利市八木節連合会 ☎0284-71-1214

また、太平記館では「観光八木節太平記館公演」として、足利市を訪れる観光客に、「八

「観光振興課（観光協会提供）」

木節発祥の地・足利」を知っていただき八木節を通じて観光の振興を図るため、足利八木節連合会の協力による八木節公演が行われています。

期 日：4月14日（日）～11月4日（月）の日曜日・祝日

午後2時～午後3時

場 所：太平記館南側駐車場（伊勢町3丁目6-4）

行 事：八木節公演

交 通：東武伊勢崎線足利市駅から徒歩約15分

JR両毛線足利駅から徒歩約10分

北関東自動車道足利ICから約10分

問合先：観光八木節実行委員会（足利市観光振興課内） ☎0284-20-2165

【小俣町山車会館】

栃木県内最大級の張出舞台付・彫刻屋台の山車です（市指定文化財）。江戸時代後期に造られたものと推定され、総高は6.3mを測り、正面上部に「太陽と鶴」、下部の梁には幅3.6m、重さ約250kgを量る大型の龍の彫刻が施されています。背面には「月と兎」の彫刻が施されています。

かつて小俣町の八雲神社にありましたが、山車の組み立て・分解の繰り返しでは破損や経費がかさむ為、組み立てた状態で保存したい、と平成26年に小俣小学校西側にオープンしました。

会館内では、約6mの手摺付階段から山車を見下ろすことができます。参観者10名様より公開いたします。事前にご予約をお願いいたします。

場 所：小俣町山車会館（小俣町670-1）

交 通：東武伊勢崎線足利市駅から車で約20分

JR両毛線足利駅から車で約20分

JR両毛線小俣駅から徒歩約5分

北関東自動車道足利ICから約20分

東北自動車道佐野藤岡ICから約50分

問合先：小俣町山車保存委員会 新井様 ☎0284-62-8623